第３号様式（公開）

ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書

注１）３号様式はページを増やさず、必ず２ページ以内でまとめてください。
注２）３号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
注３）添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各Ａ４版１ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名（25字以内）	空き家を活用して子安台と新子安に交流拠点をつくる会
現在の主な活動内容・活動実績	２００７年よりこれまで全国の空き家の売却に携わってきました。これからどんどん空き家が増え続ける中で、地域の方々に空き家を活用してもらうことで、空き家を極力防ぎながら、地域にも貢献できるような交流拠点を全国的に作るべく活動しています。
提案場所	神奈川区子安台１丁目
提案名（25字以内）	子安台の空き家を活用した交流拠点づくり
提案する施設（どのような施設の提案ですか）	木造２階建の空き家（1階２５．６４㎡・２階２１．９０㎡・昭和４１年7月１５日新築の築５４年）をリノベーションして、交流拠点のスペースをつくりたいと考えています。 ちょっとした屋外空間もつくり、１階は飲み物や食事を提供できる場所として、２階は地域の方々の活動等にも使えるレンタルスペースとして、整備したいと考えています。 整備費用の概算額：約５００～１０００万円
活用イメージ（提案する施設でどのようなことを行いますか）	サロン事業：子供食堂、地域のお茶の間、ランチ提供可能な喫茶店 イベント事業：マルシェ、フリマ、DIYワークショップ等 スクール事業：地域の方々が先生となる子供向けの塾、生涯学習等 貸しスペース事業：時間貸しや、国際交流拠点としての民泊 支え合い事業：子育て支援、高齢者支援、防災拠点、助っ人登録等
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	子安台エリアは、神奈川区の統計を見ても高齢化率が高く、空き家が増えたり、まちが衰退していく可能性が高いエリアです。 一方、新子安エリアは神奈川区の統計を見ても高齢化率が低く、子育て世代が多く住んでいて、今後の発展が期待できるエリアです。 隣接する子安台と新子安は、地勢的には一つのまちと言って良く、子安台エリアの方々だけでなく、新子安エリアの若い世代の方々とも一緒に、この二つの地域に賑わいをつくりたいと考えています。

目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	今回第一歩として、子安台の奥地にある提案場所の空き家を交流拠点（ターミナル）とすることで、子安台エリアと新子安エリアを地域の方々が行ったり来たりする「動き」を作りたいと考えています。 その往来の途中にも、今後、同様の空き家を活用して、地域の方々の居場所を徐々に増やし、複数の居場所を活用してもらうことで、賑わいで溢れる魅力ある地域にしたいと考えています。 また、空き家を整備する段階から地域の方々に参加してもらうことで、整備後もしっかりと使われる施設を目指したいと考えています。
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注４）に触れて説明してください）	地域の方々になるべく多く参加してもらいたいので、告知活動を実施予定です。また、アンケートも予定しています。その際、掲示板への掲載等、自治会町内会のご協力を頂けることになりました。 地域の法人も含め、地域の方々にご参加頂ければ、人力、物資、お金のご協力を受けられる可能性もあると考えています。 建物の整備に際しては、建築家が全面的に協力予定で、なるべく、DIY等でコストを抑えながら整備できればと考えています。
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注４）に触れて説明してください）	運営に関しても、地域の方々にもお手伝い頂けるよう調整中です。 食事提供に関しては、取りまとめを料理の専門家に全面的にご協力頂く予定で、地域の方々にもお手伝い頂けるよう調整中です。 多くの地域の方々にお集まり頂き、整備や運営について具体化する時には、市内の学生（大学生等）にも声掛けをする予定です。
その他提案について特にＰＲしたい点を記入してください。	ハード面では、これから増えるであろう空き家をどのように整備すべきか、提案場所を第一歩として、地域の方々と一緒に、地域全体の空き家問題に取り組むことで、持続可能なまちづくりに繋がります。 ソフト面では、これからの少子高齢化社会に対して、提案場所を第一歩として、世代間交流を生み出すことで、子育てしやすい、お年寄りでも安心して暮らせる、助け合いのまちづくりに繋がります。

注４）「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

○「ヒト」の例　・地域のＰＴＡから協力を受けられそう。　・地域に設計の専門家がいる。
○「モノ」の例　・整備に必要な材料を安く入手できそう。　・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
○「カネ」の例　・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。　・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注５）への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
建物所有者はグループの代表 土地所有者は横浜市道路局管理課	建物：地域の方々に空き家を活用して頂き、地域に貢献できれば嬉しい限りです。 土地：承諾済みです。

注５）土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

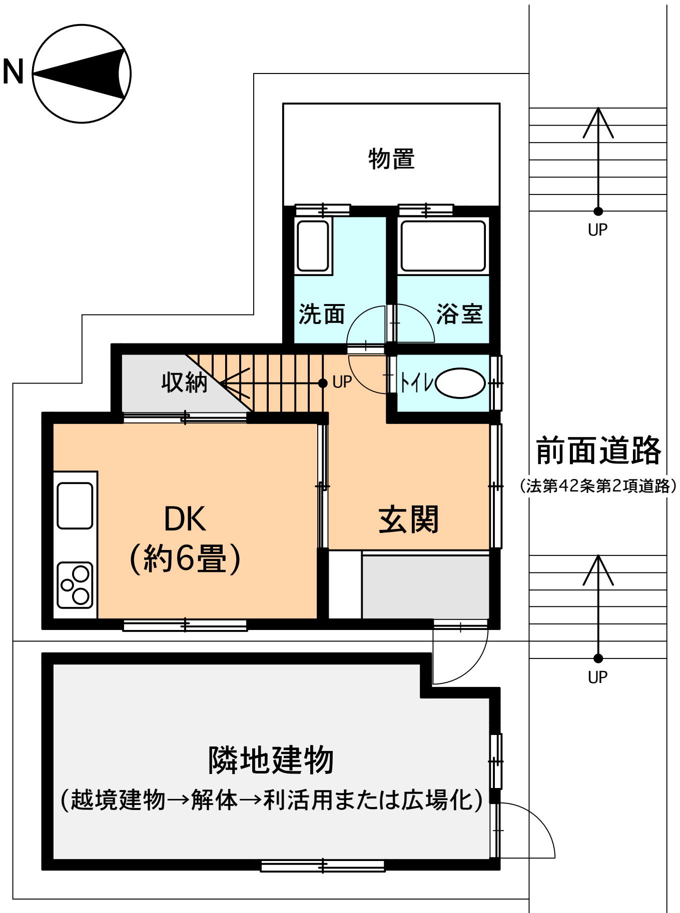
記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✔を入れてください。

□✔　記載内容は真実であり、虚偽はありません。

□✔　記載内容に個人情報は含まれていません。

神奈川区区民生活マップ

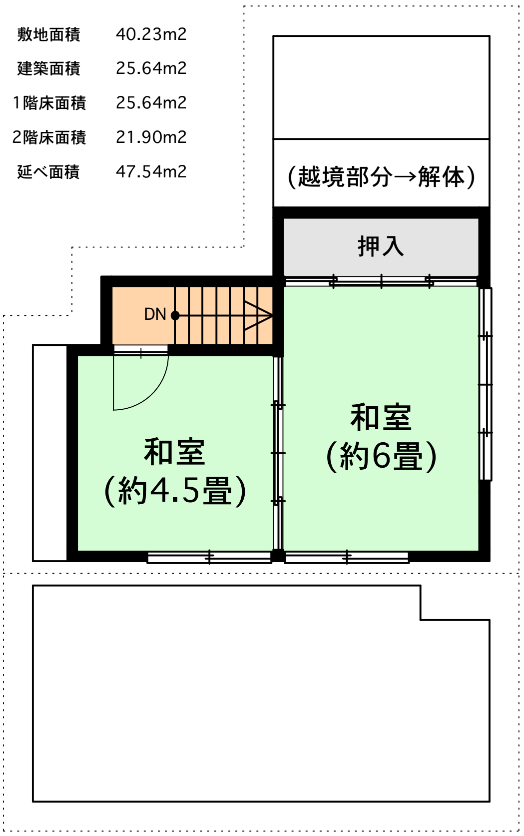
Copyright(C) City of Yokohama. All rights reserved.



1階 既存

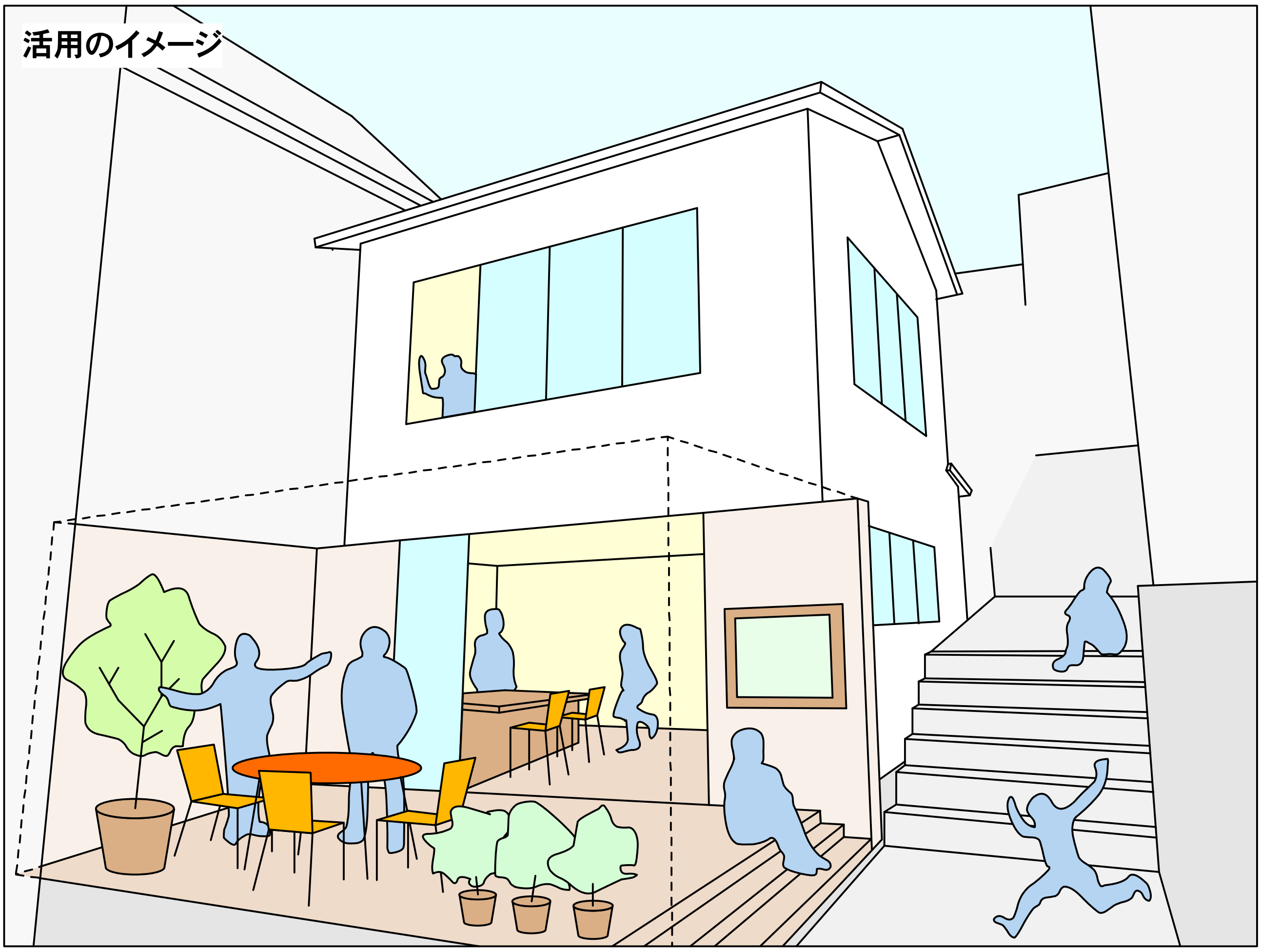
至 道路

敷地面積	40.23m2
建築面積	25.64m2
1階床面積	25.64m2
2階床面積	21.90m2
延べ面積	47.54m2

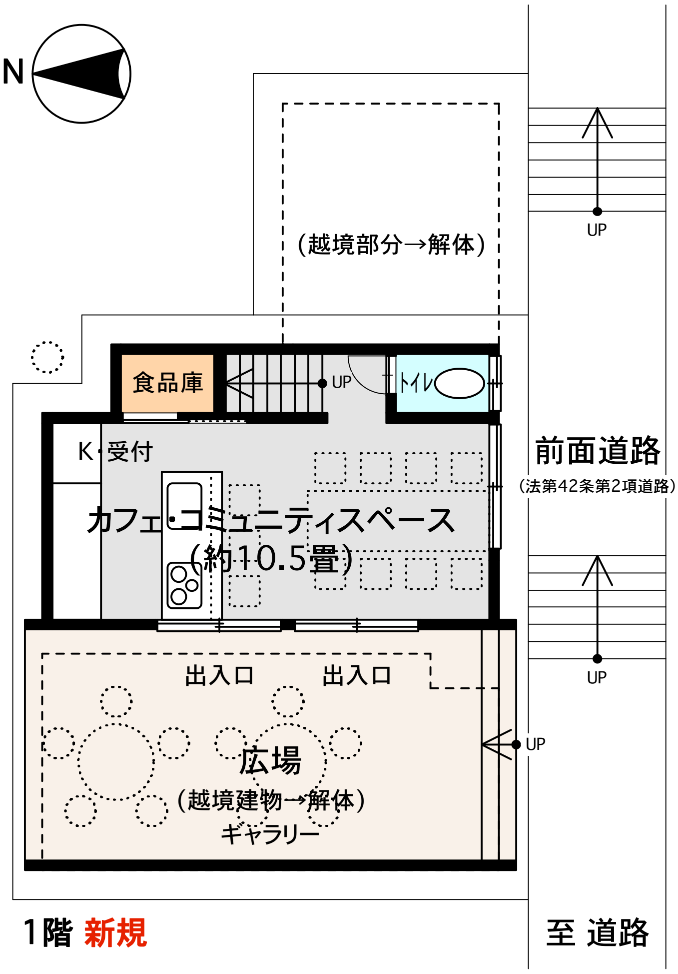


2階 既存

現況写真及び現況図面

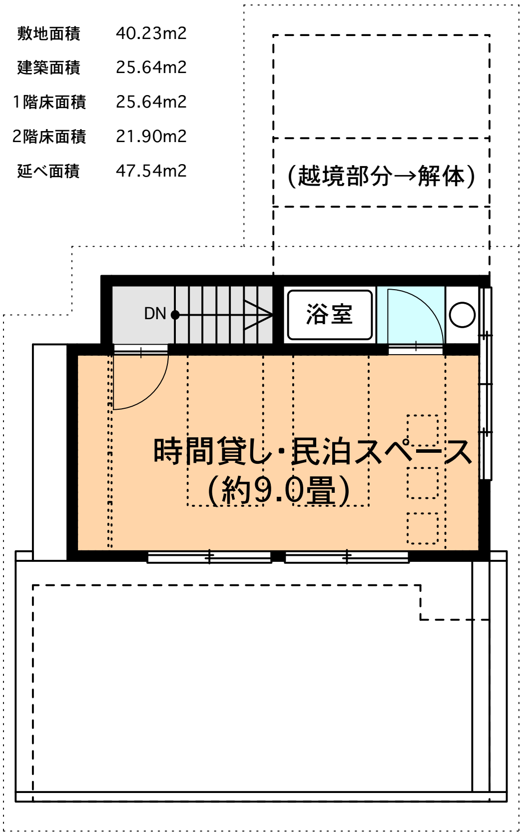


サロン事業	イベント事業	スクール事業	貸しスペース事業	支え合い事業
子供食堂、地域のお茶の間、ランチ提供可能な喫茶店	マルシェ、フリマ、DIYワークショップ等のイベント	地域の方々が先生となる子供向けの塾、生涯学習、等	地域の方々への時間貸し、国際交流拠点としての民泊	子育て支援、高齢者支援、防災拠点、まちの助っ人登録



1階 **新規**

敷地面積	40.23m2
建築面積	25.64m2
1階床面積	25.64m2
2階床面積	21.90m2
延べ面積	47.54m2



2階 **新規**

活用イメージ図及び計画図

空き家を地域拠点へ
子安台みんなの家！
まちづくりメンバーを募集しています！

私たちはこれまで、空き家等の困った不動産の売却等に多く携わってきました。そういった不動産は、実はまちに与えるマイナスの影響も大きいです。一方で、整備にはそれなりの資金が必要ですが、費用をかけても実際に使われないと意味がなくなってしまいます。
そこで、地域の方々に実際に使う側として、企画段階から定期的に参加して頂き、様々なご意見を調整しながら、今回は、子安台１丁目にある空き家を地域拠点として、再生できないかと考えています。
皆さま、是非ご応募ください！

対象の空き家の概要

所在：横浜市神奈川区子安台1丁目某所（横浜市の借地）
建物：木造2階建て 約50m2（株式会社リライトの所有）

企画
メンバー募集
事業計画
整備開始
運営開始
（来年度）

子供が大好きで子供食堂をやってみたい方	趣味の延長で休日や夜間だけでも喫茶店等やりたい方	イベント好きでマルシェ等をやってみたい方
ものづくりやDIY等の作業が好きな方	**例えば・・・このような方々を募集しています！**	特技等をお持ちで教えるのが好きな方
お世話好きで民泊等をやってみたい方	子育て中の方で支援を受けたい方または支援したい方	空いた時間で高齢者支援等をやってみたい方

検討中の地域拠点事業

サロン事業
子供食堂、地域のお茶の間、ランチ提供可能な喫茶店

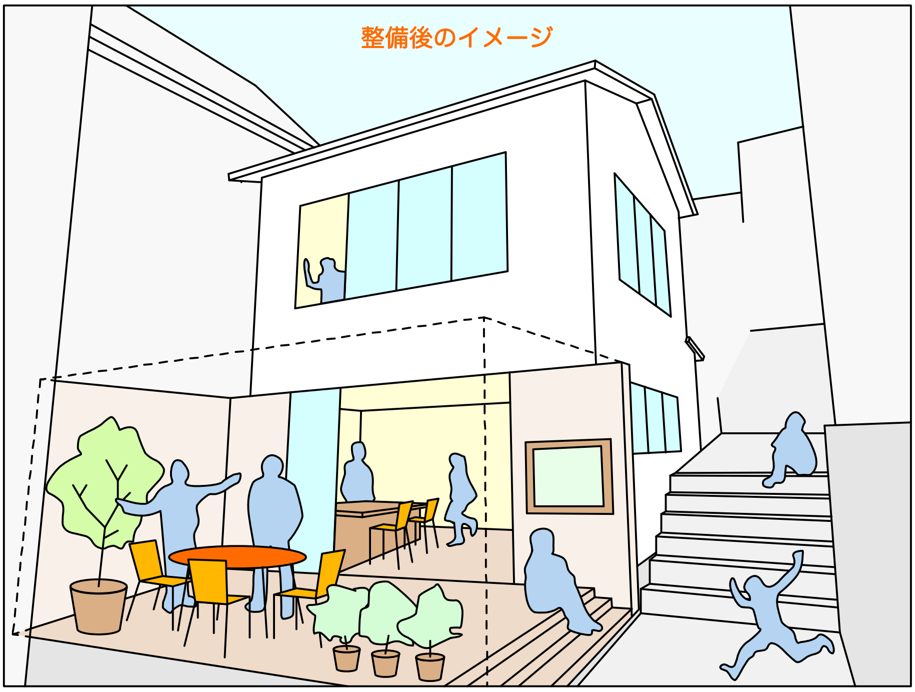
イベント事業
マルシェ、フリマ、DIYワークショップ等のイベント

スクール事業
地域の方々が先生となる子供向けの塾、生涯学習、等

貸しスペース事業
地域の方々への時間貸し、国際交流拠点としての民泊

支え合い事業
子育て支援、高齢者支援、防災拠点、まちの助っ人登録

リクエスト事業
地域の方々からの要望に応じた事業



企画・運営

空き家を活用して
子安台と新小安に
交流拠点をつくる会

株式会社リライト
〒221-0842 横浜市神奈川区泉町14-9
HP：https://www.relight.co.jp/
TEL：045-620-8659
FAX：045-620-8759
E-mail：info@relight.co.jp

株式会社リライト
代表取締役 田中 裕治

公認不動産コンサルティングマスター
競売不動産取扱主任者　不動産戦略アドバイザー
宅地建物取引士　２級ファイナンシャルプランナー
ＡＦＰ（日本ＦＰ協会）　賃貸不動産経営管理士
不動産仲介士　宅建マイスター　住宅ローンアドバイザー

東急リバブルで満１０年、買取再販の不動産屋で約１年、その後、株式会社リライトを設立し、買取再販等を行う。一方で、困った不動産の売却相談も数多く解決してきた。著書３冊の他、テレビ等メディアにも数多く掲載される。現在、（一社）全国空き家流通促進機構の専務理事や、市役所や区役所で相談員も務めている。

まちづくりメンバーになって頂ける方は、下記、可能な範囲でご記入頂き、info@relight.co.jp までメールください。

・お名前（ふりがな） ・郵便番号 ・ご住所 ・電話番号 ・ファックス ・携帯番号 ・メールアドレス ・ご職業等	・やってみたいこと ・あなたの特技など ・地域に対する思い ・あったら良い事業 ・ご要望及びご質問 ・参加可能な時間帯 ・利活用を考えたい空き家がある場合	・その他、ご自由にお書きください。